

石川区長の情報漏えい事件

執行機関の守秘義務違反を調査した百条委員会の最終報告がありました。
この委員会では「区の補助金が町会役員の一部で私的に流用されている」という区への相談内容が当該町会に情報漏えいした事件を調査してきました。
当事者とされる石川区長、安岡議員は明確な証言を避けてきましたが、町会の議事録や他の証言から委員会としての最終決断を以下の通り下しました。
「石川区長から安岡議員を通じて町会関係者に情報が漏えいした疑いが極めて濃厚」
「区長はじめ庁内の危機管理能力が欠如している。改善を求める」
この委員会報告を受けて当事者の石川区長、安岡議員の正式なコメントはありません。

またしても突然の提案! 副区長の人事案を否決

副区長ポストは平成23年8月、当時の大山副区長が石川区長から突然の解任を告げられ1年7ヶ月にわたって空席となっていました。
副区長ポストは区長を支え、役所の要であることから私たち自民党は早期の選任を行うよう強く求めてきましたがこの間区長は何の対応もせず今回突然の提案がなされました。
私たち自民党は石川区長に対して予てより事前の相談と議論の場を求めてきましたが、残念ながら今回もまた同じ繰り返しとなりました。

安倍総裁・石破幹事長
キャラクター・イラスト
コンテスト受賞作品



最優秀賞

広報本部長賞

キャラクターグッズは党本部で販売中!

VOICE

Head Line

- ▶千代田区議会第1回定例会
- ▶予算特別委員会報告
- ▶区長の情報漏えい事件
- ▶副区長人事案を否決
- ▶第59回 自民党千代田総支部定期大会

千代田区 自由民主党議員団 活動レポート

発行:千代田区議会 自由民主党議員団 〒102-8688 東京都千代田区九段南1-2-1(千代田区役所7F) Tel.03-5211-4320 Fax.03-5275-6882

千代田区議会第1回定例会

平成25年度 予算案可決

予算案は千代田区議会最大会派としての責任と区民のみなさまの生活を守るために、
自民党案の「**不透明な開発協力金の見直しを求める附帯決議**」を付けて可決。

平成25年第1回定例会は石川区長が4期目の再選後、初めての本会議となりました。

また、私たち自民党にとっても野党に転じて初めて経験する議会であり、

石川区政にどう取り組むかが問われるものとなりました。

私たち自民党は野党といえども、石川区政のすべてを否定するものではありません。

常に区民の視点をもって是々非々で正しく判断をまいります。

第59回 自民党千代田総支部定期大会

多くの党员のみなさまのご参加をいただき支部大会が盛大に開催されました。

国政では安倍晋三総裁を先頭に政権奪還を果たしましたが、

来たるべき都議選、参院選に勝利して初めて保守政権として盤石となります。

監査報告等議事終了後には、この大事な選挙を戦う

わが党の公認候補者から力強い決意表明がありました。

「自民党の新たな挑戦——たくましく・やさしく・誇りある日本へ」という運動方針の下、

千代田総支部のより強固な連帯を確認し自民党万歳で閉会しました。

初心に帰り、都政に挑む
党都連幹事長

内田 茂



参院東京選挙区
2期目に挑戦
党千代田総支部顧問
参議院議員
丸川 珠代



千代田区議会 本会議場
桜井ただし 高山はじめ 戸張孝次郎 嶋崎秀彦 小林やすお 石渡伸幸 鳥海隆弘 松本佳子 内田直之 永田壮二

代表質問



桜井ただし

私たち自民党は今後、健全な野党第一党として石川区長が提案する議案や区政を取り巻く課題に対して常に区民のみなさまの目線に立って、これからも正しく判断をしてまいります。そして区民の皆様の生活を守り、幸せと感じていただける様々な施策の

実現に向けて全力で取り組んでまいります。木村前区長は「区政は区民のもの、区民は区政の主人公」と言われました。これからも私たち自民党はみなさまの声をしっかりと受け止め、区政へ反映してまいります。

今回の区長選挙と今後の区政運営について

問 今回の選挙において誹謗中傷は言うまでもなく、事実でないことをネガティブキャンペーンとして言い広められた。高校生の医療費無料化が廃止。高齢者サポートセンターの事業がなくなる。旧練成中学校跡地が売られてしまう。永田町小学校が売られてしまう。などあたかも大山氏が言ったかのように言い広めて、悪用するきわめて悪質なことが行われた。また、今回の選挙の中で区職員から悲鳴ともいえる声が寄せられた。それは区長の区政運営において『区職員の声が区長まで届かない』『何を言っても聞いてもらえない』『独断的な決め方にはついていけない』などでありました。区長はこのような卑劣な選挙や、区職員の声に対してどのように思われるか。

答 私は今回の選挙戦で子育てや高齢者施策、また、地域のありようについて私の考えを広く訴えてきた。選挙戦で私の発言や行動はそれ以上でもそれ以下でもない。職員に対しては十分に庁内での議論、コミュニケーションを図っていく。



皇居東御苑 つつじ

次世代育成施策について

問 ①麹町保育園の整備について教育委員会等にまったく報告、相談をせず区長は独断的に決定をしたがその後の対応は。②保護者から「保育園に入れないのなら、待機児童ゼロなどと、期待を持たせるようなことは言わないでほしい」との憤りの声があった。今後麹町地域だけで約200名もの定数不足が推計されているが、区長は定員100名規模と言われている。どうして待機児解消につながるのか。③園に隣接する地権者へ昨年7月に1回説明しただけで、区長はなぜ十分に地権者のことを理解していると言えるのか。④麹町出張所管内の区民から広く意見を聞く約束は。⑤学童クラブ待機児童問題をどう考えるか。

答 ①議会での論議等を踏まえ、総合的に判断した。②麹町保育園の整備だけでは待機児解消は不十分。民間の力を借りて進めていく。③おひさま広場周辺の方々の意見は十分認識している。協議状況を勘案し方針を決めた。④管内の住民への説明会も行う。⑤希望者の集中している地区の定員増や、「放課後子ども教室」との一体的な運用も含めて検討。

高齢者施策について

問 ①「(仮称)高齢者総合サポートセンター」の進捗状況について。②サポートセンターの建物全体の機能をどのように調整するのか。③23区で唯一、区内にない老人保健施設の整備と230人の入所待機者がいる特養ホームの整備を区の土地を活用するなどして検討し早期に実現すべき。

答 ①設計業務は4月末頃に完了。課題は24時間365日対応の相談拠点の体制づくり等。②福祉・医療の知識や実務経験を有する総括調整責任者を配置予定。③今後の計画の中で、区有地を活用した特養や老健の整備計画を明確にし、将来のニーズに応えるようにしていきたい。

平成25年度予算について

問 ①予算編成にあたっての基本的な考え方はなにか。②2年連続の決算不認定という議会判断を真摯に反省し、区長は誠実な区政運営に改めるべきと考えるが。

答 ①区民の生活を守り、安心を支えることを最優先課題とし、危機管理・保健福祉・次世代育成に重点を置いた。②議会判断を真摯に受け止め、議会からの意見を十分に踏まえ編成した。

※その他、「商店会振興」についての質問を致しました。

一般質問



永田壮一

道徳教育について

問 日教組と一体の民主党政権によって道徳教育は蔑ろにされてきた。安倍政権では道徳の教科化など充実を提言している。「国と郷土を愛する心」を育てる基本理念に則って更なる推進を求める。

答 本区では道徳を重要教育課題として年間指導計画を作成し計画的、発展的に取り組んでいる。また独自の教材を使用して地域への愛着や思いやりの心を育てている。いじめ防止も含めて学校と家庭、地域の連携を強化していく。

男女共同参画について

問 男女が同様に社会で活躍できるよう推進することは当然だが、能力に関係なく結果の平等まで保障することは同意できない。男女共同参画センター(MIW)は予算が多額であり、不透明な運営は問題ではないか。改善を求める。

答 あらゆる分野で男女共同参画を進めることを目標にした活動拠点がMIWである。引き続き適切な運営に努めていく。問題は認識していない。



4年ぶりの神田祭

※道徳教育については推進していくことで合意ができた。男女共同参画は前政権の理念が引き継がれているのは問題である。継続して保守層の代弁者として訴えていく。

予算委員長決定の経緯

今定例会の中で予算委員長を決めるにあたり、ちょっとした議論がありました。本来、与党となった会派は区長の提案する議案に対して議決が叶うよう積極的に議会運営に努め、各会派の調整を行うことは当然のことでありました。しかしながら予算委員長の人事をめぐっては初めての

経験とはいえ、その責任を果たさないばかりか終始その任を受けない状況が続きました。結局、私たち自民党が議会全体の運営を考慮し我が党の嶋崎幹事長が予算委員長を務めることで無事収拾を図ることができましたが、石川区政にとってなんとも頼りないスタートとなりました。

予算特別委員会報告

予算特別委員長 嶋崎 秀彦



第1回区議会定例会は、予算議会とも言われる本年度の予算を審議する重要な議会です。先の区長選挙において我が自民党推薦の候補が敗れ、本来であれば受けるべきではないのですが、多くの会派からの強い要請を受け、円滑な議会運営を優先し引き受けました。予算の審議は、正副委員長互選、補正予算審議・新年度予算の基本的質疑、3つの分科会による調査、総括質疑(全議員、全理事者)、トータル6日間の日程で熱心かつ活発な議論が展開されました。

審議過程では、2年連続して決算が不認定となった事態を、再選された石川区長がどのように認識し答弁されるのかが注目されました。しかし、管理職の皆さんが一生懸命誠実に答弁しているにも関わらず、その答弁をあっさり否定するなど、相変わらず自分勝手な振る舞いが目立ちました。委員長として大変情けなく、区長を支える管理職の皆さんが大変気の毒だと感じました。まとめでは、「東松下町計画に関する予算減額修正案(本文参考)」が提出されましたが賛成少数で否決されま

した。平成25年度各会計予算は自民党が中心となって提出した「開発協力金に関する附帯決議」を付けて賛成多数により可決しました。石川区長には、予算特別委員会で指摘された様々な意見を真摯に受け止め、独善に陥ることなく、公平公正な区政運営を要望します。